

## おわりに

本研究では、児童生徒が自分自身の書字課題に気づき、自発的意欲的にその課題解決に継続的に取り組めるよう、書字に関するより客観的な評価システムの開発に取り組みました。

本研究の成果として、書字について特に字形を客観的に評価するための基本的なシステムを提案することができましたが、この評価システムを用いることによって、これまで指導者の主観的な判断に頼ることが大きかった書字評価がより客観的になされる道が開けたといえます。しかしながら、本研究期間中には十分な検証がなされたとは言い難く、今後も継続した取組が必要だと考えています。また、現状のシステムは、パソコンに液晶タブレットを組み合わせているものですが、近年、タブレットPCが急速に普及してきており、特別なシステムを用いなくても本システムで開発したプログラムが利用できるようになるものと思われます。今後さらに検証を重ね、さらに使い勝手の良い学習ツールに仕上げていく所存です。

先行研究のレビューから、弱視児童生徒の書字の課題は、古くて新しい課題だということが改めて認識されました。学校現場での取組状況についても全国の盲学校の調査から書字指導が弱視教育の中で依然として大きな課題となっていることが確認できました。本研究の成果が少しでも弱視児童生徒の書字の向上に寄与できれば幸いです。

また、本システムは弱視児童生徒の書字改善のために開発したものですが、弱視児童生徒のみならず、発達障害の教育や通常の教育などでも活用可能だと思われます。今後、この点についての検証も行っていく必要があると考えています。

最後に、本研究に協力者として、様々なご支援をいただいた、東京工芸大学 久米祐一郎先生、慶應義塾大学中野泰志先生にお礼申し上げます。

平成 25 年 3 月

独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所  
教育支援部 上席総括研究員  
大内 進



共同研究

弱視児童生徒の特性を踏まえた書字評価システムの開発的研究

平成 23 年度～24 年度

研究成果報告書

研究代表者 大内 進

平成 25 年 3 月

著作 独立行政法人国立特別支援教育総合研究所

発行 独立行政法人国立特別支援教育総合研究所

〒239-8585

神奈川県横須賀市野比 5 丁目 1 番 1 号

TEL : 046-839-6803

FAX : 046-839-6918

<http://www.nise.go.jp>



